

## 会議概要

1	審議会	令和8年度 第1回 安曇野市総合計画審議会
2	日時	令和8年5月14日(木) 13時30分～15時30分
3	会場	議会全員協議会室
4	出席者(敬称略)	赤沼委員、赤羽委員、尾碁委員、佐原委員、高橋委員、中島委員、柳澤委員、山本委員、吉田委員、小澤委員、木村委員、浜田委員、池上委員、伊藤委員、小穴委員、栗原委員、小山委員、筒井委員、中林委員、平沢委員、若林委員、
5	説明者等	中山市長、小林政策部長、白鳥政策経営課長、今井企画担当係長、永田主任
6	庶務担当課出席者	同上
7	公開・非公開の別	公開
8	記者	1人
9	会議概要作成年月日	令和8年5月15日(金)

## 協議事項等

### 1. 開会

(政策経営課長 説明)

### 2. 委員紹介

(委員の紹介)

### 3. 市長挨拶

(中山市長 あいさつ)

- ・安曇野市では、第2次安曇野市総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン「自然、文化、産業が織りなす共生のまち安曇野」の実現に向け、各種施策を展開してきた。
- ・同計画においては、安曇野の新たな魅力や価値を創出するとともに、既存の魅力をさらに高め、市内外の多くの人に価値を認識してもらうため、価値創出プロジェクトの推進にも取り組んでいる。
- ・近年の社会経済情勢や環境の変化は著しく、将来の見通しは不透明さを増しており、従来の枠組みによる長期的な展望の設定が難しい状況にあると認識しているため、より柔軟で実効性の高い計画づくりが求められている。
- ・総合計画は市政運営における最上位の計画である。委員の皆様から専門的見地に基づく意見を受け、誰もが住んでよかったと思える安曇野の実現に向け、第3次安曇野市総合計画を策定していきたい。

### 4. 会長・副会長の選出について

(政策経営課長 説明)

安曇野市総合計画審議会条例に基づき、会長及び副会長は委員の互選により選任する旨を説明。委員から特段の推薦がなかったため、事務局案として、会長を木村委員、副会長を筒井委

員とする案を示し、委員より承認されたため、会長を木村委員、副会長を筒井委員に決定。

(木村会長 あいさつ)

- ・地方創生に関しては、国がこれまで多額の補助金を投入してきたが、東京一極集中の是正や地方の活性化が十分に進んだとは言い難い。そういった状況の中でも、安曇野市民一人一人の生活は続いており、市政運営も日々進めていかなければならない。この10年間で分かったことは、単に資金を投入すれば地域が良くなるというものではないということである。
- ・総合計画は、市がどのようなまちを目指すのかという理念に基づき、各分野でどのような施策を行うかを定めるものである。
- ・審議会は、安曇野市民の生活を守るために、どのような計画を審議するかという立場にある。
- ・委員の皆様には、自覚と責任感を持ち、それぞれの立場から要望や考えを発言してほしい。

(筒井副会長 あいさつ)

- ・委員それぞれの専門的な視点や、一市民としての立場から意見を出し合い、活気ある審議を行いたいと思う。

## 5. 諮問

(中山市長より木村会長に対し、第3次安曇野市総合計画の策定について諮問を行った。)

## 6. 会議事項 (※以下、発言者を ●:委員(会長・副会長含む。)、□:事務局 で表記)

### (1) 総合計画審議会委員の任務等について

(事務局から、資料1に基づき、安曇野市総合計画審議会委員の任務等について説明)

《特に意見なし》

### (2) 安曇野市総合計画について

(事務局から、第2次安曇野市総合計画後期基本計画の概要版に基づき、現在の総合計画の構成等について説明)

《特に意見なし》

### (3) 策定方針について

(事務局から、資料3に基づき、第3次安曇野市総合計画策定方針について説明)

(以下、委員からの意見等)

- 今回の計画では、従来の前期・後期という概念がなくなるという理解でよいか。また、基本構想、基本計画、実施計画を廃止する場合、計画全体の構成イメージが分かりにくい。
- 現状では、前期・後期という区分は設けず、5年間の計画として策定することを想定している。第2次総合計画の体系図で示している、将来ビジョン、基本目標、重点的なプロジェクト

ト、施策という構成を5年間で運用するイメージである。将来ビジョンについて事務局で考えているのは、県の「しあわせ信州創造プラン3.0」では、10年先の将来像を考え、その上で今後5年間の目標を設定しているため、安曇野市も同様の考え方を参考にしたい。

●従来の基本構想、基本計画、実施計画と、今回想定している構成は、物事の順序としては大きく変わらないように感じる。

□基本構想だった部分が将来ビジョンに一本化され、それを達成するための目標や重点プロジェクトがあり、それに紐づく施策が出てくるという構成になると考えている。

●事務局説明では、審議会の場では目標の部分に重点を置いてほしいということだが、施策部分はあまり扱わないということか。

□施策についても委員の考えを反映させたい。ただし、個別の事業内容まで計画で細かく縛るのではなく、目指す方向性や目標を中心に示すことを想定している。例えば、スポーツを推進するまちを目指す場合、体育館を建設するのか、プロスポーツの試合を誘致するのかといった具体的手段までは、総合計画で詳細に定めるものではないと考えている。

●現在の後期基本計画の進捗状況を検証する際には、個別施策の話も多く出てくると思う。新計画では、個別施策の扱いをどのように整理するのか。

□現在の計画の効果検証については、現在の計画に基づいて行う。新計画では、あまりに具体的な事業まで定めるのではなく、施策の方向性を示すことを意識してほしいという趣旨である。個別事業に関する意見を全く扱わないということではない。

●個別の施策に応じた議論を行わなければ、理念の話だけになってしまう懸念がある。総合計画には、これまでも施策に関する記載があり、施策と結び付けて議論する必要があるのではと考える。

●将来ビジョンを5年ごとに変えるというのは違和感がある。将来というものは5年後ではなく、もう少し先を見据え、そこに向かうために5年ごとの道筋を立てるものではないか。

□第2次総合計画では、前期基本計画策定時に設定した将来ビジョンが、後期基本計画策定時には時代の変化に十分対応できていない部分があり、見直した経過がある。見直した背景としては、共生社会や多様性に関する考え方が当初の将来ビジョンを定めたときから社会的な位置付けが大きく変わったことによるものだった。そういった第2次総合計画の経緯を踏まえると、10年間同じ基本構想で運用することが難しくなっていると考えている。

●将来ビジョンは、もう少し長い先を見据えたところに置き、その上で5年ごとの目標を設定するものとする。

□県の「しあわせ信州創造プラン3.0」ではビジョン自体は、10年先の都市像を想定し、そのビジョンを達成するために、5年間でどのような目標を設定するかという構成となっており、第3次安曇野市総合計画の将来ビジョンも10年先を見据えたビジョンを想定している。

なお、第3次総合計画終了後には、その時点から改めて10年先を見据えたビジョンを考え、5年間の計画を作ることになると考えている。

●共生社会づくりは、第2次総合計画後期基本計画で位置付けられたものであり、先見性のある取組であると認識している。総合計画は長期的な視点を持つべきものであり、10年先を見通して進める意識を委員一人一人が持つことが重要である。短期的に今が良ければよいという考え方は、総合計画にはふさわしくないのではないか。

●総合計画のあり方について、これまでの基本構想、基本計画、実施計画という構成は、かつて国が示した考え方に基づくものである。15年前に地方分権の一環として基本構想作成の義務化は外されており、現在は、自治体が独自に計画の形を考えることができるため、今回安曇野市が行おうとしている総合計画の期間を5年にする見直しは大きな転換である。

□将来ビジョンは10年先を目指すものとして考えたい。そのビジョンを実現するために、各目標や施策をどのように設定するかを5年ごとに見直すという考え方である。将来ビジョンそのものを5年ごとに大きく変えるという趣旨ではない。

●目標を言語化してほしいとの説明があったが、言語化の一つは定量化であると考えている。今回の計画では、人口などの定量的な目標を設定するのか。

□効果検証の観点から、KPIは設定する予定である。どのような指標を設定し、どのような数値を目標とするかについては、事務局で検討するとともに、委員の専門分野からの意見も踏まえて設定したい。

●再確認となるが最終的に、計画には施策は位置付けられるのか。

□施策は位置付ける予定である。ただし、具体的な事業内容まで詳細に定めるのではなく、第2次総合計画でいう「健康づくりの推進」のようなレベル感で施策を表現することを想定している。

●次回以降、現在の後期基本計画の進捗状況など具体的な資料が示されれば、新しい計画のイメージも共有しやすくなると思う。事務局には、委員が新たな計画構成を理解できるよう説明を工夫してほしい。

#### (4) その他

(事務局)

- ・その他として、事務局から特段の報告事項はない旨を説明した。
- ・審議会以外でも気付いた点や要望があれば、随時事務局へ連絡してほしい旨を説明した。

(以下、委員からの意見)

≪特に意見なし≫

(事務局)

- ・次回会議は令和8年7月から8月頃の開催を予定している。
- ・次回は、市民アンケートの結果や統計データ等を示し、安曇野市の現在の状況を委員で共有する場とする予定である。

## **5. 閉会**